

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 11 日作成)

小委員会名	環境負荷削減と構造小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	主 査 名 : 坂本 真一 就任年月 : 2009 年 4 月
設 置 期 間	2009 年 4 月 ~ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築物のライフサイクルにおける環境負荷の概念に対する理解を深めるとともに、建築材料や施工と建築構造の立場から、環境負荷削減のために、建築材料の使用と構造物の設計において取り組むべき課題と方針を明らかにする。</p> <p>&lt;活動計画&gt;</p> <p>2011 年度: これまでの検討結果の整理と今後の方向性の明確化。</p> <p>2012 年度: 具体的な各種構造システムや高耐震都市の提案とその適用効果についての定量化。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無 : 有</p> <p>坂本真一 (清水建設), 幹事: 坂本成弘 (大成建設), 稲田達夫 (福岡大学), 大越俊男 (東京工芸大学), 田村和夫 (千葉工業大学), 大谷恭弘 (神戸大), 西村功 (武蔵工大), 平川倫生 (三菱地所設計), 藤田正則 (山口大学), 柳橋邦生 (竹中工務店), 軽部正彦 (森林総合研究所), 兼光知巳 (清水建設), 三澤 温 (アラップ・ジャパン)</p>	
設置 WG (WG 名 : 目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球環境時代における木材活用 WG」(WG 主査: 稲田達夫 (福岡大学)) カーボンニュートラルな木材の活用促進を図るための現状課題の抽出とその解決策を、国内需給や国際的な資源循環を踏まえて提案する。</li> <li>・「高耐震都市研究 WG」(WG 主査: 藤田 正則 (山口大学)) 地震災害に対する都市の脆弱性の問題などの現代都市が抱える緊急の課題について、地震工学あるいは耐震工学・材料工学の立場から検討を行い、解決のためのシナリオを見出す。</li> </ul>	
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無 : 委員会 HP アドレス :

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)      WG 開催回数 各 6 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD: 「地球環境時代における木材の活用推進シナリオー新築着工木造率 70%・自給率 40%を目指してー」 参加者数 80 名 (資料名: 同上)
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. これまでの検討結果の整理し、2012 年度の大会 PD に向けての計画策定。 2. 年次大会において、研究協議会を開催。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 圧倒的に予算 (交通費) が不足しているため、各委員の旅費を個人負担とせざるを得ない。